

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2019/2/1 ～ 2019/2/28)

1. 勉学の状況

成績が出た。留学生に対しては成績のつけ方が甘く、授業にきちんと出てテストに参加さえすれば単位は貰えるようだ。従って先月の報告書では成績がテストだけで決まる授業はとらないこと勧めたが、撤回させていただく。好きな授業を自由に選んでいい。

2. 生活の状況

冬休み中に中国周遊旅行に出かけ、最終目的地、西安についたところまでは先月の報告書に書いた。西安は旧名長安で古くは中国の首都だった。唐の時代には長安を真似て平安京平城京が造られた。そのため町の様子は京都に似ていると感じた。大きく違うところは城壁があるところだ。町の中心部を守るようにぐるっと一周されている。

西安は西遊記の三蔵法師のモデルとなった玄奘三蔵がインドから経典を持ち帰った場所でもある。翻訳作



大唐芙蓉園

業を行った大慈恩寺には大雁塔があり今では町のシンボルとなっている。旧正月のときに行ったのだが大雁塔の周りは尋常じゃなく混んでいた。周辺には大型ショッピングモールや現代唐人街、大唐芙蓉園（唐の時代をイメージしたテーマパーク）など観光スポットが集まっている。

中国では旧正月を盛大に祝い、日本の正月とは盛り上がり方が桁違いだ。町に人と活気が溢れている。皆実家に帰るので、北京など大都市はゴーストタウンと化すそうだ。旧正月の前後は鉄道の切符は取りにくくなり、飛行機の値段は普段の何倍にも跳ね上がる。

冬休みが終わり新学期が始まった。友達が数人帰国し、新入生がやってきた。前学期は交友関係が狭すぎたので今学期は中国人や外国人留学生と数多く付き合っていきたい。